

お西さん

2000
9-10

平常心

八月十二日に日航123便大阪行のジャンボ機の機長、副操縦士の回収されたボイスレコーダーを生々しく聞かせてもらった。今を去る十五年前の事である。

必死に飛行機の機体を保つため、コンピューター（自動操縦装置）の間に合わぬ現実から正に操縦桿と目測の斗いであった。しかし垂直尾翼を失った飛行機の行方は、方向を指す事は出来なかった。涙をのむ光景をまさまさ我が身に聞かせながら、御家族の心中をも思い計って追悼の思いを深くした。五百二十人を失った御巣鷹山の惨事は未だ新しい。最後迄、沈着に理性を失わなかった客室員。同時に恐怖の乗客の中で、無念断腸の思いをこめて冷静に、自らのおかれた場を、みつめた幾人かの人もおられた事実も忘れてはならない事である。

大阪商船 三井船舶神戸支店長 川口博次氏（五十二才）の手帳に記された遺書である。とん底の中で家族に残したその二節、節は世界の人々に感動と感銘を残して去った。

その二節とは「多くの人々に世話になった！」

一人で生きられる人生ではない。多くの人々の支えの中の人生であったと訴え又「私の人生は幸せだった！」と告げた。

彼自身の「人生といのち」の瀬戸際の中で下した究極の結論にあためて、その鍛えられた人生観 死生観に感佩せざるを得なかったことである。

宗教の中に生きるものが、常にもたねばならぬ人生観 死生観は平常心（合掌 感謝）から培われたものとしみじみ思う。

輪番 鷺山諦住

**報恩講のため10月11日(水)～17日(火)まで、
月忌参りはお休みさせていただきます。ぜひ、ご本堂にお参り下さい。**

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647



本願寺函館別院

「蓮如上人五百回遠忌法要」

修行決定

期日◆平成十三年五月十日



(御影は山科八幅の内)

本願寺第八代蓮如上人ご在世のころは、うち続く災害や政治の混乱が極まり、戦国時代につながっていく時代でした。大きく揺れ動く時代の中で、上人のご生涯もまた波乱に富んでおりました。上人は、親鸞聖人のみ教えを誰に

でも分かるよう、やさしくお説きになりました。

その結果、全国至る所にお念仏をよるこぶ人々の声が広がり、本願寺のゆるぎない礎を築いていただきました。

平成十年(一九九八年)は、蓮如上人の五百回忌にあたり、京都本願寺では百日間にわたり厳粛かつ盛大に大法要が修行されました。

来年には函館別院においても蓮如上人五百回遠忌法要を修行し、上人のご遺徳を鑽仰する法要をおつとめいたします。



即如御門主 御来函

開創百四十五周年記念 慶 讚 法 要

道南地区門信徒 物故者追悼法要

御親修決定

期日◆平成十三年五月十一日

法要に先立ち、午前において帰敬式(おかみそり)が執り行われます。

法要後、御門主様より御親教(御法話)をいただきます。

詳細については、追って掲載

案内いたします。

輪番所・書院新築 上棟式行う



当別院輪番所・書院新築工事にあたり、七月二十八日(金)午前十二時より、輪番以下職員並びに工事関係者様にお集まりいただき、上棟式が執り行われました。

ようやく建物の外観が見えてきました。今年度当別院報恩講までには完成予定です。進んでおります。



日時

九月二十二日(金)

九月二十四日(日)

■晨朝～朝六時三十分より

■逮夜～昼一時三十分より

講師

福井教区 若狭組 常德寺住職

浄土真宗本願寺派布教使 今井 慶信氏

秋季彼岸会

台町彼岸会

九月二十二日(木) 午後一時三十分より

※本院納骨堂及び台町墓地におきまして

二十二日(金)より二十四日(日)までおつとめを致します。

※二十三日(土)は本院にてラムネとおだんごを

用意致しますのでどうぞご利用下さい。

※秋のお彼岸は、お花の販売は致しておりません。

日時

十月十三日(金) 台町出張所にて

■午前十時三十分より

十月十三日(金)～十六日(月)

東川町本院本堂にて

講師

福井教区 足羽組 正玄寺住職

浄土真宗本願寺派布教使 岩見 紀明氏

宗祖親鸞聖人報恩講

注目

今年度の報恩講は出来るだけ多くの方々に落ちついて参拝していただきたいという願いのもとに「別院一泊コース」を企画しました。「お参りしたいんだけど、足が悪くてね。」とかいろんな都合で参拝することができない方に無料送迎バスを運行し、皆さんのご自宅まで迎えにまいります。別院で食事をしてお休みいただき、翌日の晨朝からの報恩講にゆっくりと参拝することができます。ぜひこの機会に一人でも多くの御参加をお待ちしております。「食事代・ふとん代 1,000円」

(お申し込み・お問い合わせは別院または職員まで)

※尚、十月十一日(水)～十七日(火)は月忌参りはお休みさせていただきます。ぜひ、ご本堂での法要にご参拝下さい。



●「ダイエット」●

入船町の小林さんに「いつも来ているお寺さんですよ」と聞かれました。「ハイ、そうですよ」と不思議そうに答える私、すると小林さん、「最近太ったかい？」と聞いてきました。そうなんです、ウオーキングをやめて5キロほど体重が戻ってきました。

「お寺さんは新婚だからね」と、にこやかに話す小林さんの前で青ざめる私……。そう言えば、最近正座もきつくなってきた。食欲の秋ですが、再び本気でやせようと決心する今日この頃です。
(高倉)

●「親心」●

山の手にお住まいの魚井さんをご紹介させていただき、月参りにお伺いした時の話で、息子さんが旭川からご法事で函館に來られ、帰りに土産に蟹を持たせたと、息子さんは「自分では食べずお子さんに食べさせたとおっしゃっていたそうで、「親というものは、子供の喜ぶ姿をみると、自分が食べなくても幸せを感じるものよ」と言われておりました。私も親元から離れて初めて親のありがたさを感じております。大学進学で京都に行った頃、今ま

で当たり前のように食卓に出ていた食事がなく、洗濯も自分でしなければならぬ。当たり前が当たり前でなくなった時、親のありがたさをつくづく感じたことを思い出します。

よく阿弥陀様のころを親心に喩えますが、まさに親心とは無条件で子供の幸せを願い育ててくれ、離れていても見守っていてくれます。あらためて親心のありがたさに気づかせて頂く昨今です。
(上野)

●「感謝」●

桔梗町にお住まいの森武さんをご紹介させていただきます。お参りの時に話をさせていただくと、最近の子供は親の気持ちを知らないと言っておられました。「両親が怒るとうるさいと言ひ、おばあちゃんが怒ると古いと言ひ。親が子供を叱るのはこの子のためを思っているのに……」と淋しそうに言われるのを聞いて、私も両親に思い当たる節が多々あります。親の願いになかなか気付かず、気付いてもすぐに忘れてしまうこの私。

最後に森武さんは「私はこの年になって仏様にお願ひするために手を合わせるのではなく、感謝の気持ちで手を合わす事に気付かせて頂いた」と言っておられました。そしていつも一緒に参りしようと子供さんやお孫さんを誘っておられるそうです。本当に頭の下がる思いで聞かせて頂きました。
(毛利)

●「光陰矢の如く」●

先日、富岡二丁目の川上さん宅へフミさんの七回忌法要にお参りさせていただき、亡くなられてから、まる六年本当に早いものだと思ひながら、御法縁にあわせていただきました。

フミさんがお元気な頃、毎月お伺いさせていただき、帰

り際必ず手を握って、「また来月寄せていただきますね」と話をしてたこと、「もしもの事があつたら必ず来て下さいね」と云われていたこと、色々なことがあり、お葬式またこのたびの七回忌にあわせていただきました。

あのころのちよつとしたお氣遣いや又多くの縁の中に生かされていること、忘れがちな大切なことにあらためて自身気付かせていただきました。
(神田)

●「おじいちゃん」●

七月二十一日、大川町の阿部さんのおじいちゃんが九十才のお歳でお亡くなりになりました。

私がお参りに何うようになつてから五年ほど経ちますが、私たちのような若い僧侶がお参りに伺ひましても、本当に心のこもつた挨拶で迎えて下さいました。言葉数は少なくても、一言一言に暖かみがあり、最初は私がおじいちゃんの体を氣遣つた話をしたつもりがいつしか私の方が、「大変だね」「体を大事にね」と勵ましていただくことが度々でした。先日、二七日のお参りに伺つたとき、いつもであればそこにおじいちゃんが座つておられて、「いらつしやい」と言つてもらえるのですが、その声ももう聞くこともできなくなりました。当たり前とはわかつていても寂しさでいっぱいでした。

でも私は月一度のお参りに何うご縁でしたが、沢山のことを教えていただきました。それを大切にこれからもお参りさせて戴きたいと思ひます。
(吉村)

●「潤」●

富岡二丁目の石田さんのお宅での月参りを終えると、「お茶でもどうぞ」との勧めが、喉はカラカラ。声はガラガラ。欲しい。だけど、頂くわけにはいかない。さつき道に迷つたせいで時間がかかり遅れている。おまけにお参りする家

もかなり残っている。ああ仕方ない。「申し訳ございませんが」。すると石田さんは「ああ、急いでいるんですね。でも喉も渴いでいるでしょう。ちよつと待って。」と台所からペットボトルの天然水を持って来られ、「これなら車の中でも飲めるでしょう。……うれしくて、ちよつと泣きそうになりました。水を飲めたことよりも、この私に何とか水を飲ませてあげようとして下さった心遣いがうれしかったのです。

焦りに焦っていた私は、きつと鬼のような顔をしていたこととしよう。あの時の水は、私の喉以上にそんな私の心の渴きを潤してくれたのです。

人の心というのは、こつやつと潤されるものだったのですね。
(平田)

●「動物王国」●

松陰町にお住まいの為国さんのお宅では、たくさんのワンちゃんをはじめ、カメさんや小鳥とたくさんの動物を飼っておられます。先日はカメさんに餌をあげてらっしゃるのを見せて頂きました。本当においしそうに餌を食べているのを見て、私が子供の頃家で飼っていた犬のことを思い出しました。毎日の餌やりが私の仕事で、毎回本当においしそうに食べてくれました。やさしい気持ちになり、小さな子犬にも命があること、そしてその命の大切さを実感したことでした。今回為国さん宅で忘れかけていたことを思い出させていただきました。餌やり等大変でしょうけど頑張ってください。またワンちゃん、カメさん、小鳥さん、会いに行くな。
(八木)

●「盆踊りのウミ」●

七月二十九日は恒例の「お西さんの盆踊り」が開催され、教化サークルのみなさんやその他大勢のお力添えもあつたおかげで賑々しく進行することができました。特に今

回は別院新入職員によるミニコンサートがあり、想像以上に参加者の皆さんの好評を得ました。お寺の向かいにお住まいの豊川町の桐山さんは、盆踊りのやり取りが家まで聞こえていたそうで、「次のステージはブッチモニの登場です。」との司会のアナウンスに、本物のブッチモニがお寺に来ていと思われて半信半疑のまま息子さんや近所の友達に急いでお電話をされたそうです。結果的にはお寺の職員の仮装ショーだったんですけど、その時の桐山さんのあわてようを想像してしまいお互いに大笑しました。桐山さん、来年もお楽しみに。
(野田)

●「愛犬の死」●

日吉四丁目の石原さん宅では二匹の白い犬を飼っておりましたが、最近歳をとつてか亡くなつてしまいました。その犬は私がお参りにお伺いすると室内犬なのですが、いつも車から降りた瞬間からすごいいきおいで吠えて、また家に入るとますますよく吠えるとても元気な犬でした。石原さんはお子様が皆市内にいらつしやらず、子供同然に可愛がられていたのでとても淋しそうでした。

犬にも命があるように、私共「いのち」の不思議を感じることもなく日々を送っていますが、あのいきおいよく吠えた愛犬の声も聞こえない昨今は、いよいよ昨日の姿は今日の姿でないことに気付かされる思いで一杯です。
(石黒)

●「くち」●

暑い夏でした。鹿児島育ちという事もあつて、暑さには自信を持っていた私でしたが、なかなかしかし北海道の夏も暑いものです。

中島町の紅粉ふみ子さんのお宅へお参りにお伺いしたのも、そんな暑い夏の日でした。「今日も暑いですね。」とお話しした後、お勤めをさせていただいていますと後ろから

ソソソと涼しい風を感じました。ふと気付くとふみ子さんが自身も暑さで汗を流していらつしやるにもかかわらず、うちわで扇いで下さっていました。大変有り難く感謝の念とともに、「暑い暑い」とぐちばかり口にしてる自分に気付かされ、大変恥ずかしく思いました。
(石神)

▼別院本堂改修近況報告▲

七月より本堂修復工事に入り、一ヶ月がたちました。現在、堂内は、欄間や仏具のお洗濯、畳の入れ替え、内陣の床張り等が行われています。十月頃には美しい本堂になります。是非お参り下さい。

乙女のつぶやき(事務員日記)

夏の甲子園も終わり季節は秋へと移り変わります。

さて、先日親友の三回忌のお参りに行って来ました。お参りに行く前、母に「もう三回忌になるんだねえ」と言われ、時が経つのは早いと実感しました。

浄土真宗では、ご縁を大切にします。二年前、親友の死という悲しみに会い、今まで全く知らなかったご両親や兄弟の方と知り合うことができました。親友が亡くなるということとは、

とても淋しい出来事ではありますが、亡くなった方のご縁とはこういうことなのかなあ？と自分なりに解釈したことでした。

(小池)



毛利作



もうすぐ出来るよ!



浅野祝子さんオンステージ



だ、誰だこのペンギン



俺にホれるなよ

お西さんの盆おどり スナップ集



ワ〜イ ありがとう



イカ!イカ!イカ!イカ!イカ踊り!



みんなでおどると 楽しいね



YOSAKOI婆あのみなさんの踊り!

ご協力ありがとうございました

去る7月29日盆踊りが開催されました。盆踊りは、皆様からの多額の提灯献灯料並びに協賛想志によって大盛況のうちに幕を閉じることができました。来年も新しい企画・内容で楽しめる盆踊りを開催したいと思っております。これからも変わらぬご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



平和の鐘を鳴らそう!

終戦記念日の八月十五日、函館ユネスコ協会が西別院において「平和の鐘を鳴らそう!」という催しを行いました。午前十二時半から始まり、約三十名の参加がありました。西別院からは、石黒承仕が手伝いとして参加し、「戦争を知らない子ども達に、平和の大切さをこれからも伝えていきたい」と話していました。
(写真提供:函館新聞社)

“生きるよろこびを親鸞聖人に学ぶ”

函館親鸞大学

◆講師 渡辺 春龍氏

◆開講日時 毎月16日 午後2時より ※但し、10月は休講

◆受講料 **無料** (但し、教材費別途)



入学に 年齢・資格 性別の制限は ありません

どなたでもお気軽に 御参加下さい。

お寺へ行こう

ようこそ常例布教へ

(十月は報恩講のため、お休みいたします)

九月十三日(水) 岐阜教区 中川南組

十五日(金) 善徳寺 武藤 幸久氏

九月十六日(土) 親鸞大学〔十四時より〕

土曜の会へ行こう

●九月三十日(土)

(午後一時三十分より)

●十月二十八日(土)

会場 日吉町熊谷宅にて

お問い合わせ ☎(0138)54-6859

浄書(写経)の会

(九月はお休みいたします)

(午前十時より)

●十月九日(月)

会場 別院仏婦室にて

※現在は「歎異抄」の写経をおこなっています。
初めての方も気軽にご参加下さい。

お悔やみ申し上げます

第3回輪番杯 ゴルフコンペ 参加者募集!

御門徒さん・各教化サークルとの親睦を深めるべく、恒例となりましたゴルフコンペですが、第3回の開催を企画しました。豪華賞品を取り揃えておりますのでぜひ皆様の参加をお待ちしております。

日時 9月18日(月)

午前9時52分スタート

場所 アンビックス函館倶楽部
上磯ゴルフコース

競技 18ホールダブルペリア方式

会費 3,000円

プレー費 9,500円(税別)

詳しくは西別院までお問い合わせ下さい。

第6回 函館南無の会

仏教 講演会

◆日時 平成12年11月18日(土)
午後2時より

◆会場 本願寺函館別院(西別院)
文化会館
東川町12-12 TEL.23-0647

●講師 佐々木 久子(随筆家)

●講題 「酒と旅と人生と」

◆会費 1,000円

●主催 函館南無の会

永代経懇志
ありがとうございました

編集後記

▼今年の夏も全国各地でいろんな行事が目白押しでしたね。夏の高校野球も白熱した試合が繰り広げられました。が、ブラウン管には映らない所で私たちが想像できない選手達のたゆまぬ努力とたくさんの汗や涙が流れているんだなと感じました。今月からオリンピックが開催されますが、結果だけで「喜ぶ」愛するのではなく、そこまでたどり着いた人間模様を楽しみにしたいと思います。(野田)

▼北海道の夏はもっと涼しいというイメージがあったのですが、ここ数年来の異常気象の影響でしょうか大変暑かったです。地球の環境を守るためにも身近なところからできることからやっていきたいと思えます。(八木)

●テレフォン法話順番表●

- 9月 3日(日)~9月 9日(土)→高 倉
- 9月10日(日)~9月16日(土)→石 黒
- 9月17日(日)~9月23日(土)→希教徒
- 9月24日(日)~9月30日(土)→石 神
- 10月 1日(日)~10月 7日(土)→毛 利
- 10月 8日(日)~10月14日(土)→平 田
- 10月15日(日)~10月21日(土)→上 野
- 10月22日(日)~10月28日(土)→希教徒
- 10月29日(日)~11月 4日(土)→八 木

お西さんテレフォン法話

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

☎0138 27局 2424番

学校法人 龍谷幼稚園便り



夏の思い出・お泊まり会

7月15・16日は、子ども達がとても楽しみにしていたお泊まり会でした。

このお泊まり会は、「忍者になるための修行」という設定で、お泊まり会の1週間前から、忍者村から毎日巻物が届けられ、ドッジボールやダンスなどの修行を毎日続けてきました。始めのうちは半信半疑だった子ども達も、毎日届けられる巻物を読んでいるうちに、やる気まんまんで修行を頑張っていました。お泊まり会当日、最後の修行に挑戦です。ドッジボールに入浴・食事・花火・ダンス・・・などなど、すべてが修行の場となり、見事に全員が忍者の修行に合格して、カッコいいチビッコ忍者になることができました。

このお泊まり会でたくさんの経験を通じて、子ども達はひとまわりもふたまわりも大きく成長したようです。そして楽しい思い出を胸に、全員が笑顔で帰ってきました。



英語で遊ぼう!

9月からMr. クリス先生による英語教室が始まります! 英語の歌やゲームをしながら言葉の楽しさを感じよう!

預かり保育 **さんさん 燦燦 クラブ** ご案内

- ◎お仕事をしているお母さんのために
- ◎用事でしばらくみて欲しい人のために
- ◎幼稚園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日 夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい